

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

株式会社 商船三井に向けた トランジション・ローンに参加



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、日本政策投資銀行および三井住友信託銀行組成による株式会社 商船三井（本社 東京都港区、代表取締役社長 橋本 剛、以下「当社」）向けのシンジケーション方式トランジション・ローン^{※1}に参加しましたのでお知らせいたします。

本ローンは、トランジション・ローンで初めて、経済産業省のクライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業に採択されました^{※2}。トランジション・ローンとしての適格性については、国際資本市場協会の「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」および国際ローン市場協会等の「グリーンローン原則」等に準拠する旨、日本格付研究所による第三者評価を取得しております^{※3}。

当社は、2021年6月に「商船三井グループ環境ビジョン2.1」を策定、2030年までにLNG燃料船90隻の導入等を通じ、海運業界で先駆けて2050年までにグループ全体でネットゼロ・エミッションの達成を目指す目標を掲げています。

本ローンによる調達資金は、当社およびグループ会社の株式会社 フェリーさんふらわあが、大阪～別府間で運航を予定する日本初のLNG燃料フェリー2隻の導入に充当されます。

当行では、今後もこのような社会課題解決の取り組みを進めるお客さまへの投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 パリ協定が目指す脱炭素社会の実現に向け、長期的な移行（トランジション）戦略に則った温室効果ガス削減に取り組んでいる企業を支援することを目的とした融資の枠組み。

※2 ご参照（経済産業省ウェブサイト）

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/climate_transition/002.html

※3 ご参照（日本格付研究所ウェブサイト）

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

記

本トランジション・ローンの概要

借入人	株式会社 商船三井
資金用途	LNG燃料フェリー2隻の導入
契約日	2021年9月9日
アレンジャー	日本政策投資銀行、三井住友信託銀行
コ・アレンジャー	三井住友銀行
貸付人	京都銀行 ほか12行

<ご参考>導入するLNG燃料フェリー2隻の概要



船名・竣工予定日	「さんふらわあくれない」：2022年12月 「さんふらわあむらさき」：2023年3月
造船会社	三菱造船株式会社 下関造船所
乗客数	714名
トラック積載可能台数	136台（13m換算）
航行速力	22.5ノット
全長	199.9m
総トン数	約17,300トン

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

